



プロチオコナゾール(新規DMI剤)

プロライン®
フロアブル

黒点病、
黒変病に
適用拡大



赤かび病



赤さび病



うどんこ病



シャープな効果で小麦を守る！
主要病害をしっかりと抑制する殺菌剤。

特長

- ユニークな化学構造を有する新規殺菌剤
- 多くの作物病害に対し、幅広い殺菌スペクトラム
- 小麦の問題病害である赤かび病に高い効果、カビ毒の蓄積も強く抑制
- 穂の仕上がりが綺麗
- 優れた浸透移行性



小麦用殺菌剤

- 農林水産省登録：第24535号
- 有効成分：プロチオコナゾール…40.7% 殺菌剤分類 ③
- 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)



製品情報はこちら

ユニークな化学構造を有する新規殺菌剤

- プロライン®フロアブルは、化学構造トリアゾリンチオン(triazolinthione)を有するプロチオコナゾール(prothioconazole)を有効成分とする新規殺菌剤です。

多くの作物病害に対し、幅広い殺菌スペクトラム

- プロチオコナゾールは、子嚢菌、担子菌、不完全菌による多くの作物病原菌に高い抗菌活性を示します。麦類の赤かび病、うどんこ病、さび病などの主要病害の防除薬剤として高い評価を受けています。

小麦の問題病害である赤かび病に高い効果、カビ毒の蓄積も強く抑制

- 赤かび病に対する効果に優れ、カビ毒のデオキシニバレノール(DON)の蓄積を低減させます。
- 赤かび病の2つの原因菌であるフザリウムグラミネアラム菌とマイクロドキウムニバレ菌の両方に高い効果を示します。

優れた浸透移行性

- 植物組織内に浸み込み移行することで、高い耐雨性や残効性に寄与します。
- 優れた予防効果を示すとともに、いくつかの病害で治療効果が確認されています。

世界で使用されてきた実績、安定した効果

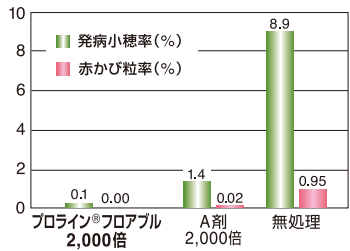
■ 適用病害および使用方法(小麦のみ抜粋) ※その他、てんさいに登録があります。詳しくは製品ラベルをご確認ください。

2023年10月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチオコナゾールを含む農薬の総使用回数
小麦	赤かび病 赤さび病 うどんこ病	2,000倍	60~120ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内
		500倍	25ℓ/10a				
	黒点病 黒変病	2,000倍	60~120ℓ/10a				

■ 試験成績(赤かび病効果試験例)

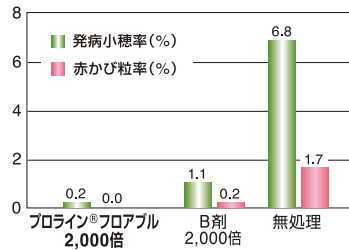
(2019年 北海道立総合研究機構十勝農業試験場)



品 種：ハルユタカ
発生状況：甚発生(接種、Fg菌)
散 布：6月24日(開花始)、7月1日、8日、16日
調 査：7月23日
菌種割合：Fg菌65%、Mn菌35%

※Fg菌=Fusarium graminearum、Fa菌=Fusarium avenaceum、Mn菌=Microdochium nivale

(2018年 北海道立総合研究機構北見農業試験場)



品 種：ハルユタカ 開花始め 6月30日
発生状況：甚発生(接種)
散 布：6月28日(開花始期2日前)、7月6日、12日、19日
調 査：7月30日
菌種割合：Fg菌17%、Fa菌31%、Mn菌52%

■ 混用事例 / 品種安全性事例

プロライン®フロアブルは、下記の薬剤、肥料との混用において薬害は認められませんでした。なお、気象条件、栽培条件、生育ステージ、品種などにより異なる結果が得られることも予想されます。これらの事例は使用の安全性を保証するものではなく、あくまでも参考事例としてお取り扱い下さい。

殺虫剤
アグロスリン乳剤、アドマイヤー顆粒水和剤、ウララDF、エルサン乳剤、ゲットアウトWDG、スミチオン乳剤、トレボン乳剤、バイスロイド乳剤、ベイオフME液剤、モスピランSL液剤
展着剤
アブローチBI、グラミンS、ダイコート、ニース、ネオエステルIN、ハイテンパワー、まくびか、ミックスパワー、ラビテン3S
肥料
46%尿素、14.0硝酸石灰、M862号、アミクロ、アミハート、カルシニット、グルハートプラス、サンカラー、ファイン千代田、ベストフォス、メチオット

下記の品種ではプロライン®フロアブルの使用で薬害は認められませんでした。

品種名
ゆめちから/きたほなみ/キタノカオリ/ホクシン/チホクコムギ/ナンブコムギ/夏黄金/シロガネコムギ/さとのぞら/農林61号/はるきらり/春よ恋/ハルユタカ/ハナマンテン

■ 注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 蜜に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する養蚕にかからないようにして下さい。
- 小麦での使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および使用方法に合わせ調節して下さい。
- 本剤を希釈倍数500倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する

- 場合によっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤飲などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指示を受けて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指示を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温場所に密栓して保管して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

BCS 23.10.20T

